Panasonic
『時短家電』販促のための
プロモーションアイデア

［応募者ID］ ADBD986CAB

【プロモーションターゲット】

メインターゲットは

でも、いくら忙しくっても時間があればやりたいことはアレコレいっぱい！

【時間があったらやってみたい、30代男女に人気の趣味ランキング】

※出典：趣味探し.com

RANK	趣味	備考
1	旅（一人旅）	自分探し、ふらり旅、女性でも楽しめる趣味！
2	在宅ワーク	家にしながらしっかり稼ぐ、堅実的な趣味！
3	PC関連（電子工作）	検索機能充実で視野が広がる！
4	サイクリング・ランニング	手軽に爽快感が得られるスポーツ！
5	株（株式投資・ミニ株）	小額でも資産運用ができる！

例えば、そんな忙しい人が食器洗い機で時短すると・・・

1日 約15分 × 365日

⇒ 1年間 で 約180時間 も節約出来る！

（出典：パナソニックHPより）

180時間あれば・・・
7泊8日で海外旅行にも行ける！

この“気づき”を与えるためにはどうしたらよいか？

単発のプロモーション施策ではなく、時短家電がある生活を、
“新たなライフスタイル”として
世の中に提案していくかが重要！

忙しい私にこそ、時短が大事。
家事などの煩わしいことはスマートに終わらせて、
趣味の旅行を徹底的楽しみたい！

そんな“新たなライフスタイル”を『世の中化』させながら、
時短家電に対する意識／欲求を高めさせるプロモーション。

【プロモーションコンセプト】

『時短トラベラー』

時短トラベラーとは・・・

お金はあっても時間が無い。そんな現代人が多い中で、
家事などの煩わしいことを効率的にやりくりして
旅行に出かける人たちのこと。

【プロモーションアイデア】

Panasonic × JTB

『時短トラベラー』応援プロジェクト

「時短トラベラー」というコンセプトの元に、
JTBとタイアップしたプロモーション展開で施策の「世の中化」を図る。

【プロジェクト　第1弾】

Panasonic

時短家電で旅に出よう！

時短トラベラー応援キャンペーン

パナソニックの時短家電を購入すると、

1年間に「節約出来る時間分の」JTB旅行が毎月100名に当たる！

年間 15時間が 時短できる！

フードプロセッサー
を買って、
『15時間分の熱海旅行』
を当てよう！

年間 48時間が 時短できる！

スチームオーブンレンジ
を買って、
『48時間分の青森旅行』
を当てよう！

年間 72時間が 時短できる！

洗濯乾燥機
を買って、
『72時間分のグアム旅行』
を当てよう！

《特記事項》

・旅行を賞品として設定する場合は、景表法の範囲内（市場価格or取引価格の20倍以内、上限10万円）の範囲内で選定。

・時短可能時間、旅行内容はイメージです。

【プロジェクト第2弾】

タイアップ先の
JTBでも
キャンペーンを実施！

JTB 時短旅行で家電をゲット！
時短トラベラー応援キャンペーン

JTB旅行に申し込むと、「申し込んだ旅行時間分が節約できる」時短家電が毎月100名様に当たる！

『15時間分の熱海旅行』で
フードプロセッサー
を当てよう！

年間
15時間が
時短できる！

『48時間分の青森旅行』で
スチームオーブンレンジ
を当てよう！

年間
48時間が
時短できる！

『72時間分のグアム旅行』で
乾燥洗濯機
を当てよう！

年間
72時間が
時短できる！

《特記事項》
・旅行を賞品として設定する場合は、景表法の範囲内（市場価格or取引価格の20倍以内、上限10万円）の範囲内で選定。
・時短可能時間、旅行内容はイメージです。

【プロモーションフレーム】

2社同時にキャンペーンを行うことで“時短トラベラー”を時流の言葉として浸透させる。
タイアップ先のJTBに対しては、景品の無償提供や旅行商品の露出を行う代わりに、
『時短トラベラー』という時流の創出協力、時短家電の露出協力を依頼し、WIN-WINの関係を作る。

・販促景品の無償提供
・JTB旅行商品の店頭露出

・『時短トラベラー』の露出協力
・時短家電の露出協力
・（景品となる旅行商品の割引提供？）

家電量販店店頭とJTB店頭の両方で
「時短トラベラー」応援プロジェクトを展開。

【プロモーション展開イメージ】

両社の売り場で『時短トラベラーコーナー』を展開することで、

“時短トラベラー”というライフスタイルを認知させていく。

Panasonic

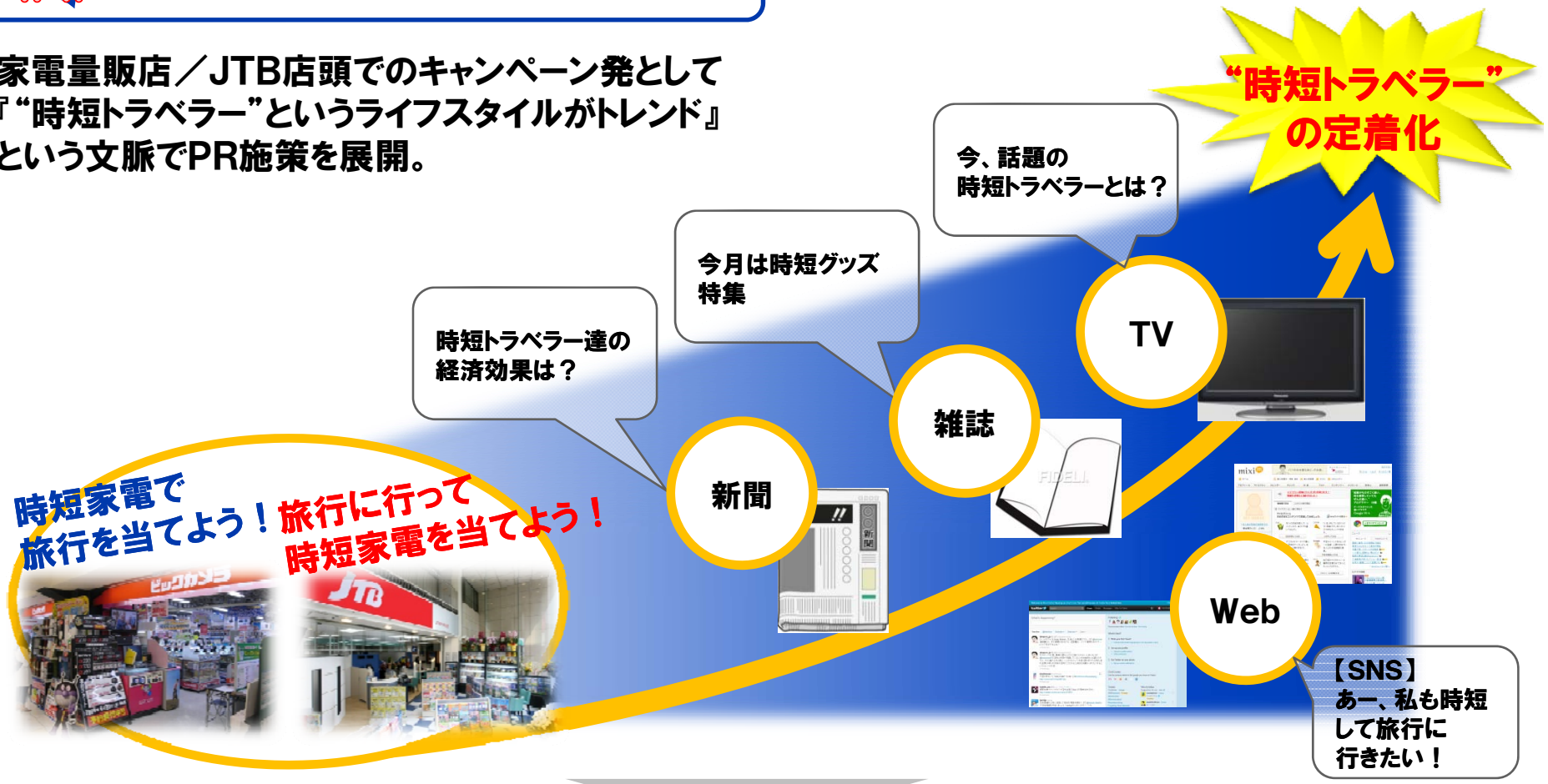
JTB

時短トラベラーで売り場を展開！

『時短トラベラー』応援プロジェクト

『時短トラベラー』応援プロジェクト

家電量販店／JTB店頭でのキャンペーン発として
『“時短トラベラー”というライフスタイルがトレンド』
という文脈でPR施策を展開。



“時短トラベラー”が時流として浸透すればするほど
時短家電の需要が高まる！